



# 滝川市バリアフリー基本構想

## 〔滝川駅周辺地区〕



平成23年2月  
滝川市



## はじめに

現在、滝川市においては総人口に占める高齢者人口（65歳以上）の割合が27.0%に達しており（平成22年12月末現在）、全国的にも高齢化が急速に進行している中、今後もこの傾向が続くものと予想されます。

また、障がいの有無にかかわらず共に活動できる社会を目指すノーマライゼーションの理念のもと、高齢者や障がい者をはじめ、誰もが自立した社会生活を実現できるユニバーサルデザインの考え方を踏まえた環境づくりが求められています。

今後も人口減少や高齢化が進む中、都市の構造を拡大から集積へと方向転換し、人口が減少しても心豊かに暮らせる持続可能なまち（コンパクトシティ）へと発展することが本市の将来にとって重要と考え、新たな都市づくりの方針として「滝川市都市計画マスタープラン」の策定を進めています。

この新たな都市づくりの方針を踏まえ、高齢者や障がい者をはじめ、妊婦、子供などすべての人が安全・安心に移動できる環境づくりを目指し、「高齢者、障害者等の移動等の円滑化の促進に関する法律（バリアフリー新法）」に基づき、「滝川市バリアフリー基本構想〔滝川駅周辺地区〕」を策定しました。

本構想の計画地区は旅客施設、市役所や病院、福祉施設が集積していることから、これらの利便性を活かし中心市街地の賑わいを再生するため、平成20年に「滝川市中心市街地活性化基本計画」を策定し各種施策を展開しておりますが、今回の基本構想では、バリアフリーの推進に関する基本的な方針、本地区において重点的・一体的なバリアフリー化整備を図る主要施設とその時期、本地区を利用される市民の皆様のご理解とあたたかな心配りとして、「心のバリアフリーの推進」に関する内容など、市民・事業者・行政が協働して本構想実現に向けて取り組むことについて定めております。

人は誰しも何らかの障がいを持つ可能性があります。今回の基本構想についてはエリアが限られておりますが、将来は全ての市民にとって便利で使いやすいまちとして全体が変わっていくことが重要です。特に平成24年（2012年）には全国の難病の子どもたちのためのアジア初のキャンプ場「そらぷちキッズキャンプ」の本格開園を控えており、今後の展開に全国から注目が集まっています。今後も市民の皆様や関係事業者等の協力を得ながら、本市が日本一やさしいまちとなるよう取り組んでまいりますので、皆様のご理解、ご協力をよろしくお願いいたします。

平成23年2月

滝川市長 田村 弘



# 目 次

第1章 基本構想策定の主旨	1
1.1 策定の背景	1
1.2 策定の目的	1
1.3 基本構想の位置づけ	2
1.4 目標年次	2
第2章 滝川市の概況と上位・関連計画	3
2.1 滝川市の概況	3
2.2 上位・関連計画	6
第3章 重点整備地区におけるバリアフリー化の基本方針	14
第4章 重点整備地区の設定	15
4.1 地区の設定要件	15
4.2 重点整備地区の設定	16
4.3 重点整備地区の区域等	16
第5章 生活関連施設及び生活関連経路の設定	17
5.1 生活関連施設の設定	17
5.2 生活関連経路の設定	20
第6章 重点整備地区の現状と課題	24
6.1 現況調査	24
6.2 バリアフリー化に向けた問題点・課題	26
第7章 実施すべき特定事業等に関する事項	27
7.1 道路特定事業	27
7.2 交通安全特定事業	30
7.3 旅客施設特定事業	31
7.4 その他の事業	32
7.5 冬期間における歩行環境の改善	32
第8章 バリアフリー化の推進方策	33
資料編	35
1. フィールドチェック及び現地調査の調査結果	35
2. 用語解説	51
3. 滝川市バリアフリー基本構想策定協議会	52
4. 庁内検討組織（バリアフリー基本構想策定協議会事務局会議）	53